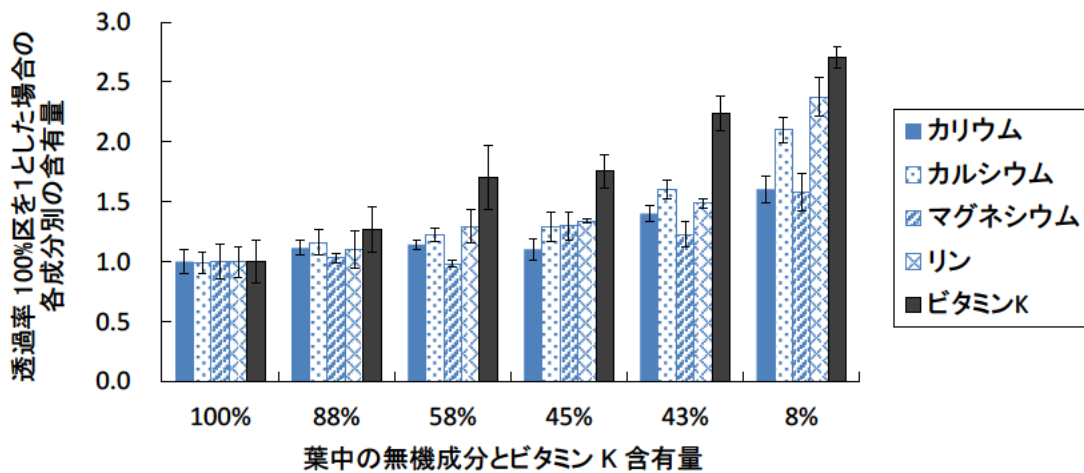
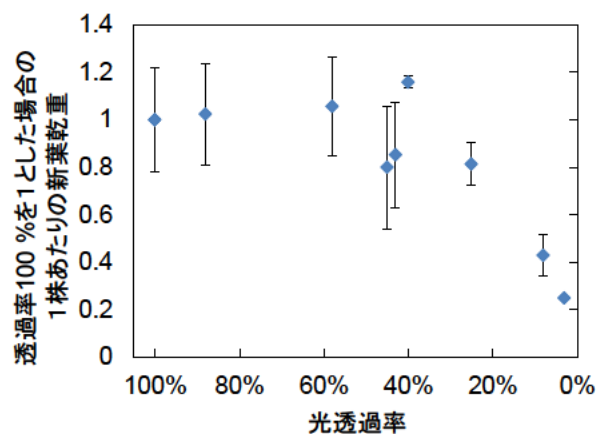


高ビタミンK含有モロヘイヤの栽培方法

- 骨の健康維持に役立つビタミンKを多く含むモロヘイヤを生産する技術です。
- 高齢者の骨折は、寝たきりにつながるリスクが非常に高いため、骨の健康を保つことは健康寿命の延伸に非常に重要です。骨の健康維持には、食生活や運動などの生活習慣が大切で、食品成分のなかで有効なものとして、カルシウム・マグネシウム・ビタミンD・ビタミンKなどが知られています。
- ビタミンKは、緑色の野菜や納豆に多く含まれており、モロヘイヤは生重あたりの含有量が特に多い野菜の一つです。
- 太陽光の照度に合わせて適度な遮光を行うことで、モロヘイヤの葉中のビタミンK含有量を高めることができます。（特許：特願 2015-012616「高濃度ビタミンK含有農産物の栽培方法」）
- 遮光によって、モロヘイヤ葉中のカリウム、カルシウム、リンの含有量も高まります。
- 受光量が少なすぎるとモロヘイヤの収量は低下しますが、夏期晴天時の栽培においては、透過率 40%（遮光率 60%）で 2 週間程度までは新芽の乾物重量はほぼ低下しません。



資材による遮光の様子



光制限処理2週間後の1株あたり新葉乾物重量

お問い合わせ先	フード・循環研究課	松田 智子	電話 0598-42-6361
参考になる資料	三重農研HP: http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm		